

証券コード：6567
2023年1月18日

2023年5月期 第2四半期 決算説明会資料



株式会社 SERIO ホールディングス
代表取締役社長 若瀨 久

家族を笑顔に!
serio

1. **会社概要**
 2. **2023年5月期 第2四半期業績概況**
 3. **2023年5月期 通期業績見通し**
 4. **セグメント別 業績概況**
 5. **事業環境**
 6. **中期経営計画（2023～2025）**
 7. **株主還元**
- 参考資料**

Vision

「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」

Mission



仕事と家庭の両立応援



未来を担う子どもたちの成長応援

就労と育児の両面から女性の活躍を支援

働く『機会』の創出

パートタイマー型派遣で
ライフステージに合わせた働く「場」を提供

就労支援事業
(派遣・請負・紹介)

働く『環境』の創出

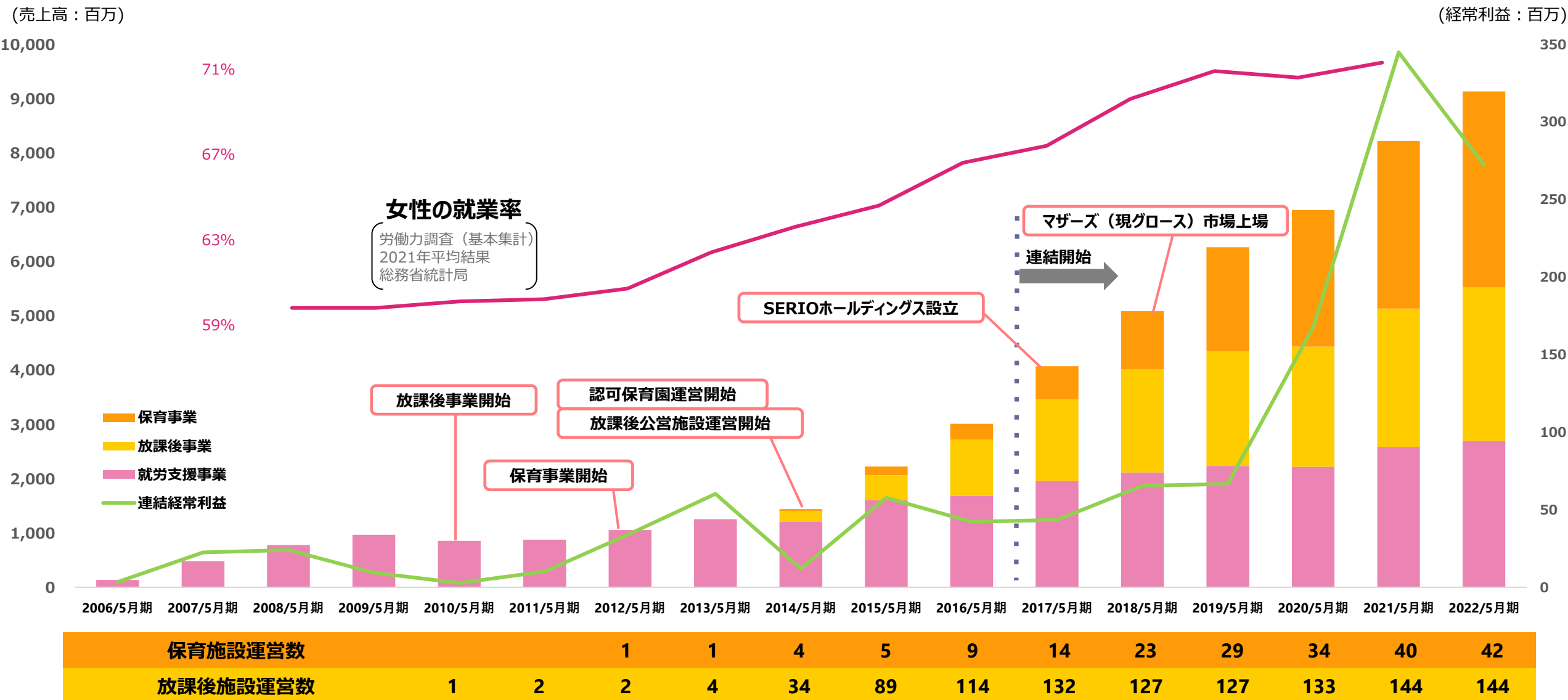
子どもたちの安心・安全な
居場所を提供
働く「時間」を創出

放課後事業
(学童クラブ運営)

保育事業
(保育園運営)

緑化事業
(園庭芝生化)

保育セグメント



→セグメントごと売上高…2014/5月期以降（2010/5月期～2013/5月期は合算）

→2016年1月監査法人契約開始

・2Q過去最高売上 対前年で増収減益

保育事業において新設及び既存園における園児数増が寄与し増収。年度途中での積極的な園児受入れを行うため、職員増員により労務費が増加し原価率が上昇。コロナ影響を受けた就労支援事業の減収に加え中期的な施設増に備え本部人員も増強し減益となった。

売上高 4,755百万円 (前年同期比+6.1%)

売上総利益 792百万円 (前年同期比△2.4%)

営業利益 64百万円 (前年同期比△50.9%)

経常利益 73百万円 (前年同期比△44.1%)

(百万円)

	2023/計画 ※2023/1/13公表	2023/2Q 累計実績	構成比	前年同期比 増減率	通期計画 進捗率	2022/2Q累計	
						実績	構成比
売上高	9,640	4,755	100.0%	+6.1%	49.3%	4,479	100.0%
就労支援事業	2,550	1,259	26.5%	-5.6%	49.4%	1,334	29.8%
放課後事業	2,910	1,467	30.9%	+4.0%	50.4%	1,411	31.5%
保育事業	4,180	2,028	42.7%	+17.0%	48.5%	1,733	38.7%
売上原価	8,022	3,962	83.3%	+8.1%	49.4%	3,667	81.9%
売上総利益	1,618	792	16.7%	-2.4%	49.0%	812	18.1%
販売費及び 一般管理費	1,458	728	15.3%	+6.9%	50.0%	681	15.2%
営業利益	160	64	1.4%	-50.9%	40.2%	131	2.9%
経常利益	165	73	1.5%	-44.1%	44.6%	131	2.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	108	48	1.0%	-43.9%	44.6%	85	1.9%

(百万円)

	2022/5月末		2022/11月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	2,675	57.8%	2,582	55.3%	-92
現金及び預金	1,869	40.4%	1,785	38.2%	-83
固定資産	1,951	42.2%	2,091	44.7%	+139
有形固定資産	1,421	30.7%	1,553	33.2%	+131
資産合計	4,627	100.0%	4,674	100.0%	+46
流動負債	1,388	30.0%	1,481	31.7%	+92
短期借入金	0	-	75	1.6%	+75
固定負債	1,176	25.4%	1,126	24.1%	-49
長期借入金	912	19.7%	863	18.5%	-49
負債合計	2,565	55.4%	2,608	55.8%	+42
純資産合計	2,062	44.6%	2,066	44.2%	+4
負債純資産合計	4,627	100.0%	4,674	100.0%	+46

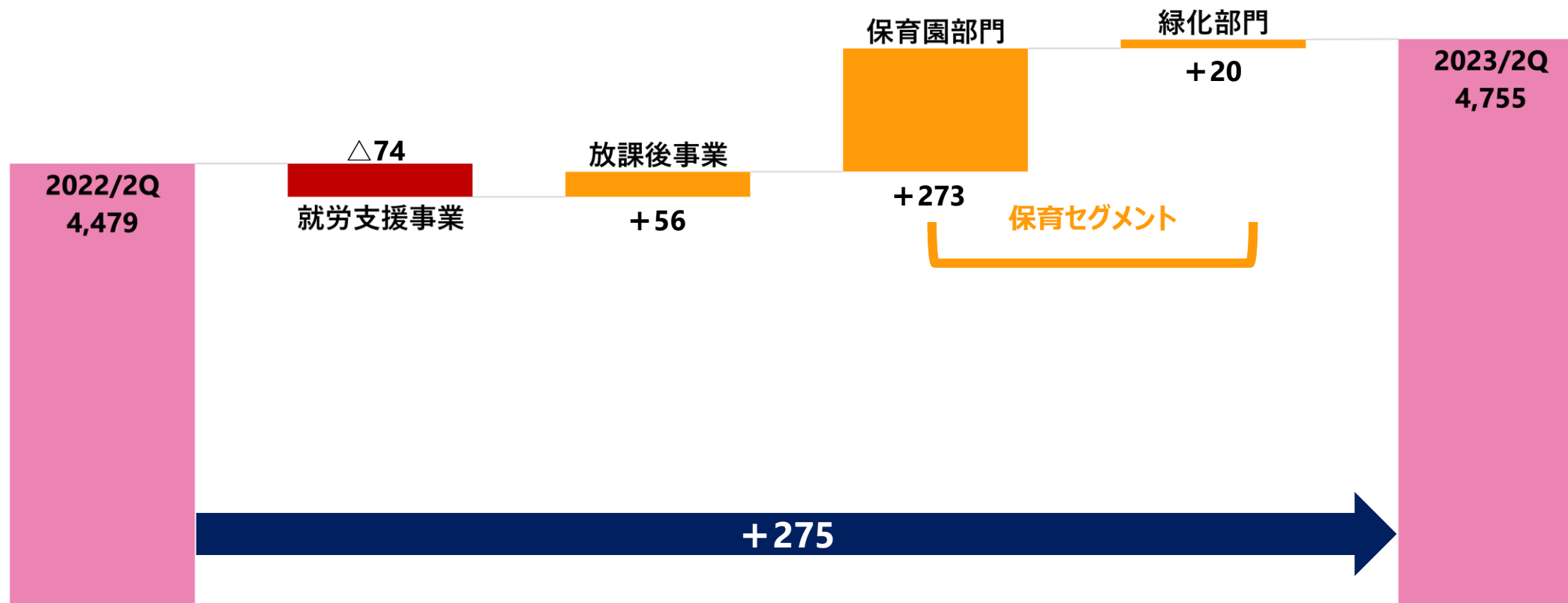
✓有形固定資産
開園予定の保育園にかかる
建設仮勘定が増加

(百万円)

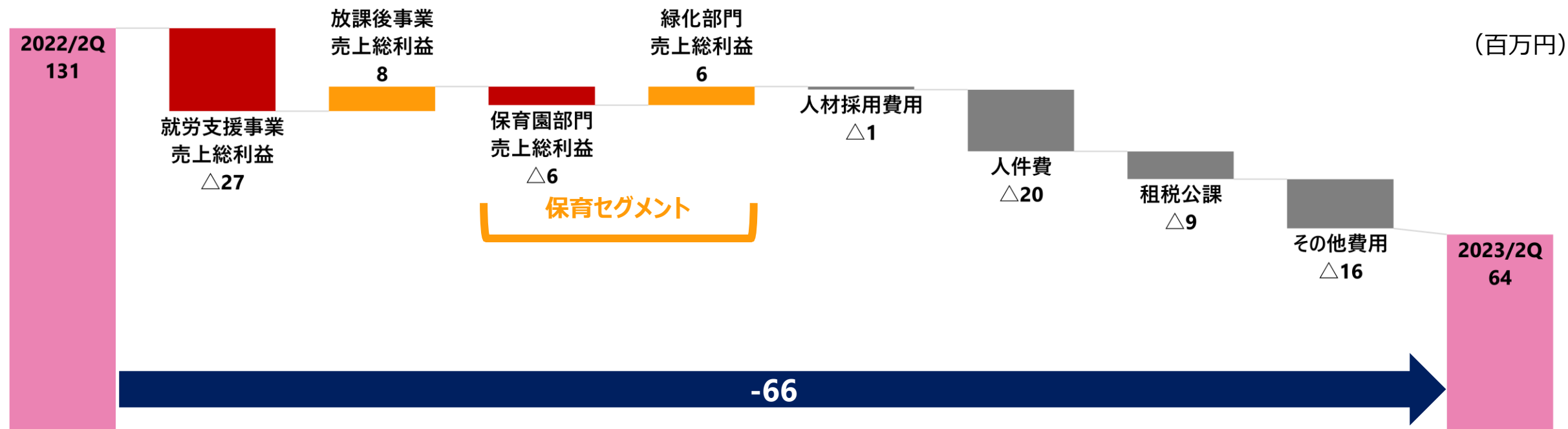
	2022/2Q 累計	2023/2Q 累計	増減額	要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	127	89	-37	利益の減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	-74	-154	-80	保育園開設増加に係る支出
財務活動によるキャッシュ・フロー	-97	-18	+79	保育園建設資金借入の時期ずれ
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,852	1,785	-66	-
フリー・キャッシュ・フロー	52	-65	-117	-

✓園児数増に伴う保育園部門の売上がけん引

(百万円)



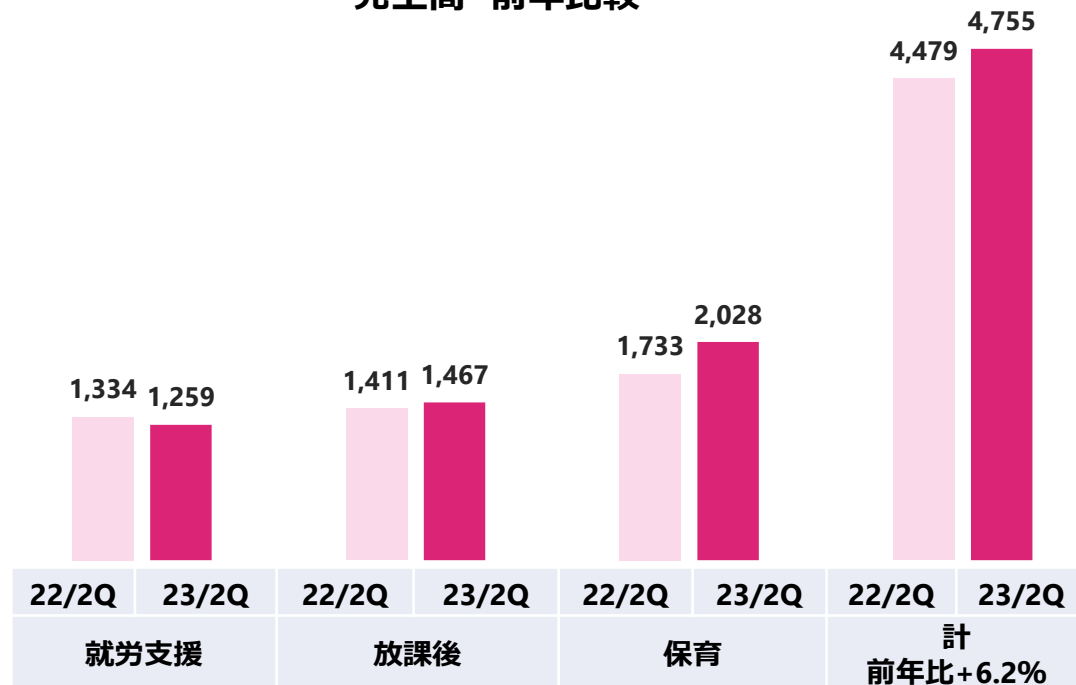
就労支援	コロナ影響32百万円（既存スタッフの欠勤、受託先のサプライチェーン混乱等）、派遣スタッフ獲得の遅れ
放課後	既存施設の利用児童数増加及び受託自治体において原価にあわせた請求が可能となり、夏休みによる原価増にあわせて増収
保育	新設園の利用園児数の増加、既存園の年間を通したきめ細かい園児数増加策が寄与



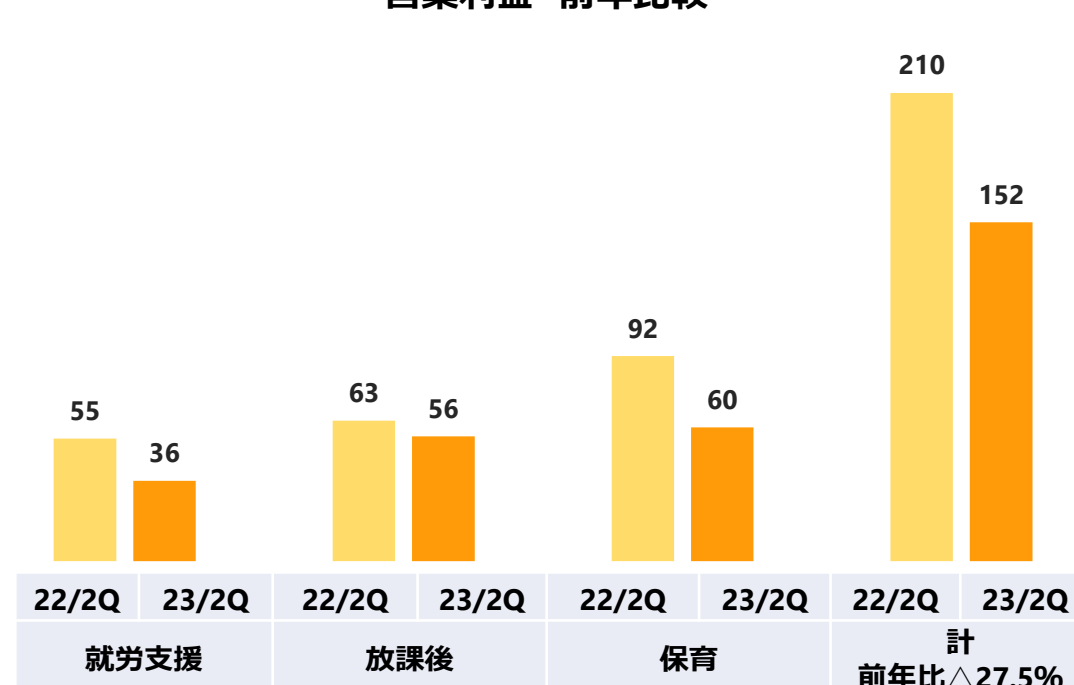
セグメント	前年比	売上総利益
就労支援	△27	減収影響
放課後	+8	処遇改善のため労務費は増加したが、既存施設の利用児童数増加により採算が良化
保育	±0	園児数の増加により増収したものの、積極的な年度途中受入れのため労務費が増加。緑化部門の売上が順調に推移し、セグメントは前年維持

科目	前年比	販売管理費
人材採用費用	△1	放課後事業における預かり児童数増加対応のため夏休み期間対応人員の採用費用は増加したものの全社的な定着改善により微増に留まる
人件費	△20	ドミナント展開に向けた本部人員増強 前年比+4.4%
その他費用	△16	・従業員育成計画にもとづく研修費用 前年比+3百万 ・請求システム刷新等 支払手数料 前年比+4百万

売上高 前年比較 (百万円)



営業利益 前年比較 (百万円)

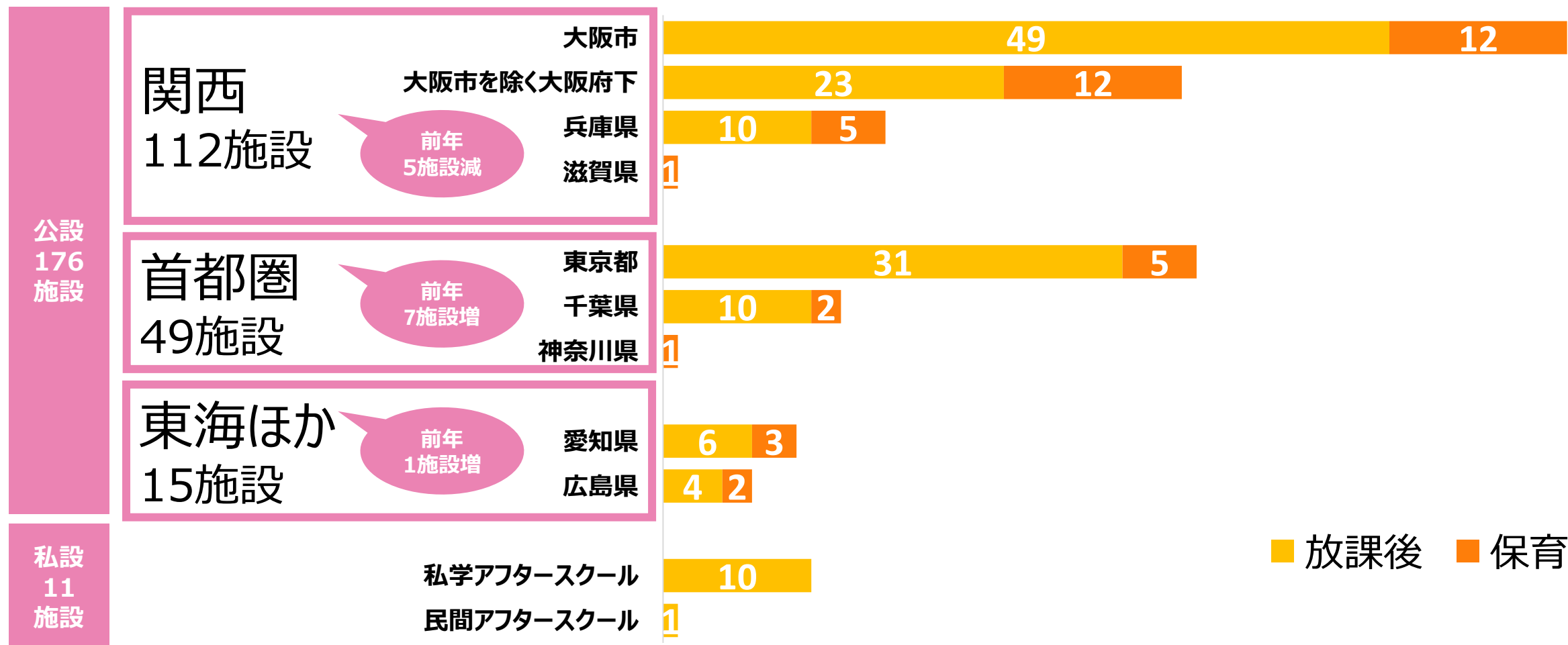


セグメント	売上高	営業利益
就労支援	↓ コロナ影響32百万発生（既存スタッフの欠勤、受託先のサプライチェーン混乱等）	↓ 減収影響
放課後	↑ 既存施設の利用児童数増加及び受託自治体において原価にあわせた請求が可能となり、夏休みによる原価増にあわせて増収	↓ 夏休み期間対応人員の採用費用増加、中期的な施設増に向け運営強化を目的とした本部人員増加
保育	↑ 新設園の利用園児数の増加、既存園の年間を通したきめ細かい園児数増加策が寄与、緑化部門の売上増も寄与	↓ 年度途中の園児受け入れに向けた労務費増加に加え、本部人員増強による人件費増

当社運営施設の内訳（2022年11月末現在 計187施設※うち公設は以下枠囲み176施設）

✓ビジネスモデル上、4Q（4月）に新規開設が集中する

✓関西、首都圏を中心に事業を展開。参入障壁が高い自治体向けビジネスにおいて、競争力となる豊富な運営実績を有する



■ 放課後 ■ 保育



- ✓ビジネスモデル上、1Q（～7月）に実績が集中するが、今後、春施工に向けた準備を進めていく
- ✓施工顧客のメンテナンスはストック型のため安定収益を見込む
- ✓AIロボット芝刈り機+自動散水システムにより、旧来の芝生管理コストの大幅削減が可能



【事業構造】



保育園、幼稚園等への
芝生施工・定期メンテ



施工費・メンテ費



保育園+幼稚園
4万施設以上
小・中・高・大
3.5万施設

2022/5月末
施工・管理 施設数

18施設

2023/5月期
新規施工予定

20施設
今期黒字化見込み

✓2022年7月14日公表より修正 売上高は変更なく過去最高の更新を目指す

✓積極的な園児・児童受入れのため労務費が増加し対前年で減益見込み。持続的な成長を見据え、新規事業、人材投資、ICT投資などは継続する

(百万円)

	2023/5期計画				2022/5期		
	修正予想	構成比	前年増減率	前回予想	構成比	実績	構成比
売上高	9,640	100.0%	+5.6%	9,640	100.0%	9,130	100.0%
売上原価	8,022	83.3%	+7.0%	7,849	81.4%	7,499	82.1%
売上総利益	1,618	16.7%	-0.8%	1,790	18.6%	1,631	17.9%
販売費及び一般管理費	1,458	15.3%	+4.3%	1,490	15.5%	1,397	15.3%
営業利益	160	1.7%	-31.6%	300	3.1%	233	2.6%
経常利益	165	1.7%	-39.4%	300	3.1%	272	3.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	108	1.1%	-37.7%	195	2.0%	173	1.9%

✓就労支援事業の落ち込みを放課後・保育事業でカバーし全社売上高予想は変更せず

- ・就労支援…コロナ感染拡大によるスタッフ稼働の減少及びスタッフ獲得の遅れにより減少見込み
- ・放課後…既存施設の児童預かり教室数の増加に加えて、2023年4月新規開設施設の増加による売上増見込み
- ・保育…2022/5期の3施設増、既存園の園児数増加、2023年4月新規開設施設の増加による売上増見込み

（百万円）

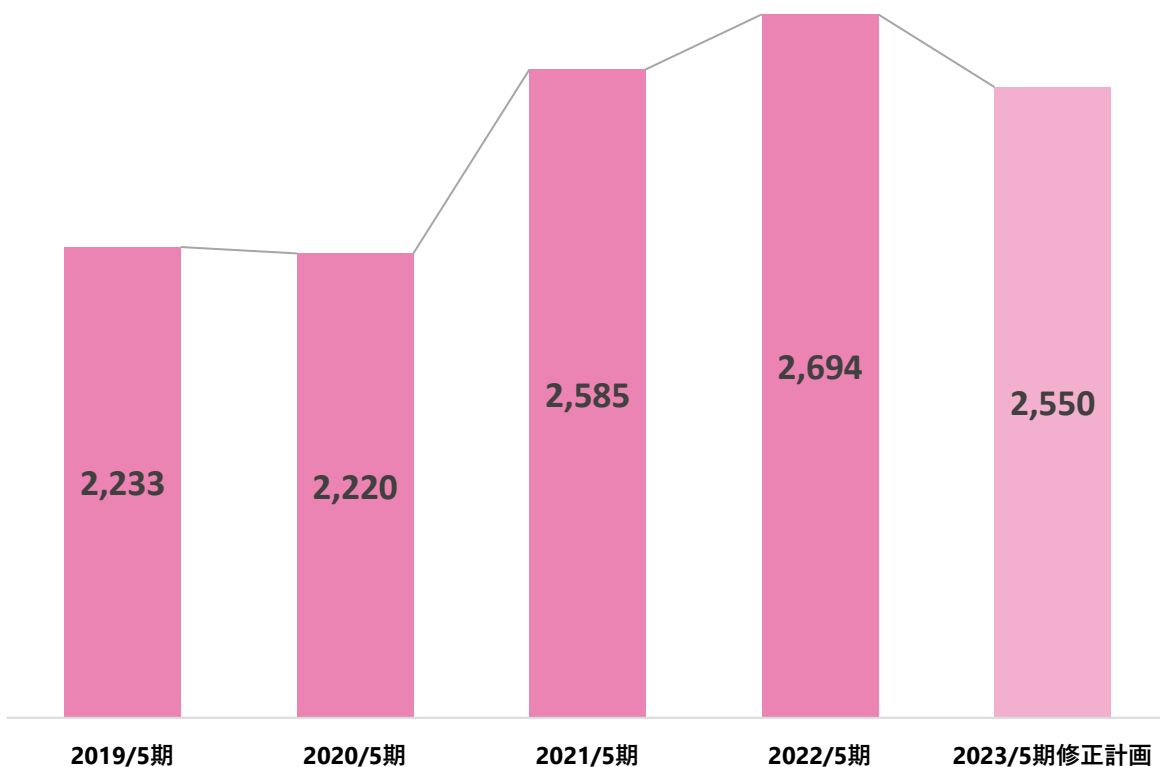
	2023/5期		前回予想	2022/5期
	修正予想	前年増減率		実績
就労支援事業	2,550	-5.4%	2,855	2,694
放課後事業	2,910	+3.0%	2,895	2,824
保育事業	4,180	+15.8%	3,890	3,610
合計	9,640	+5.6%	9,640	9,130

	原価率比較 (実績● 見込↑)		2023/5期	
	2Q累計	4Q累計	上半期実績	下半期見込み
就労支援			コロナ影響による派遣スタッフ稼働数の減少影響	既存顧客の取引拡大、新規需要も旺盛のため、スタッフ確保に注力し売上増を見込む
放課後			処遇改善による労務費増も、児童数増加による売上増により原価率は前年同水準に落ち着いた	2023/4月の新設純増計画10→予定19 (内訳:25新設、6減少) と大幅に上回るため、施設引継ぎ等による労務費が一時的に増加する見込み
保育			年度途中の積極的な園児受入れを行うため職員数強化による労務費増加	期中の園児獲得により原価率低減を目指す但、2023/4月の施設数計画5→予定8 (+3施設) により職員数・園児数ともに増加する見込みのため原価率は横ばいの見込み

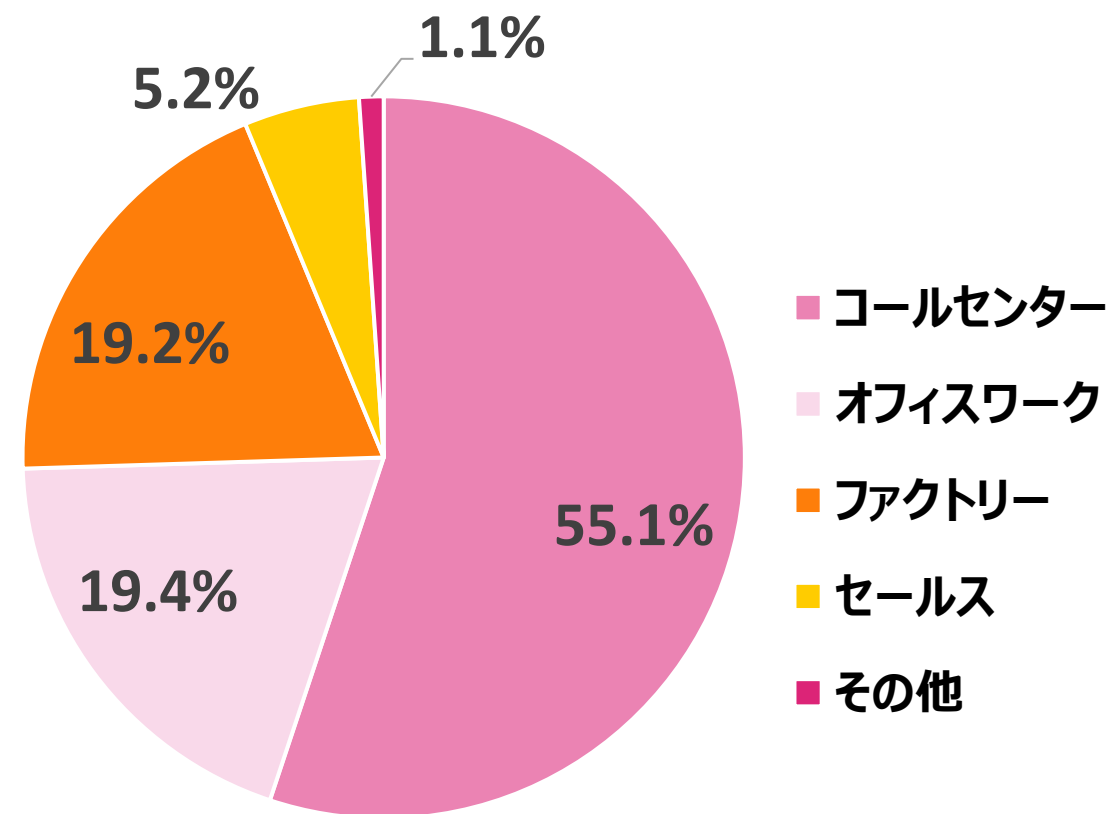
就労支援事業 売上計画と業種内訳

- ✓2023年5月期 売上計画を下方修正 コロナ影響による派遣スタッフ稼働減少、派遣スタッフ確保の遅れによる売上減が影響
- ✓パートタイム就労と相性の良いコールセンター業務が過半数を占める
- ✓コールセンター業務は大手家電メーカー修理受付等

<売上高推移（百万円）>



<2023/2Q 職種別売上高比率>



就労支援事業 上半期トピックス

- ✓派遣スタッフ確保に向けてブランド強化および福利厚生面の充実を図る
- ✓下記のほかに既存の福利厚生で確定給付年金制度あり

「sacaso派遣」が日本子育て支援大賞受賞

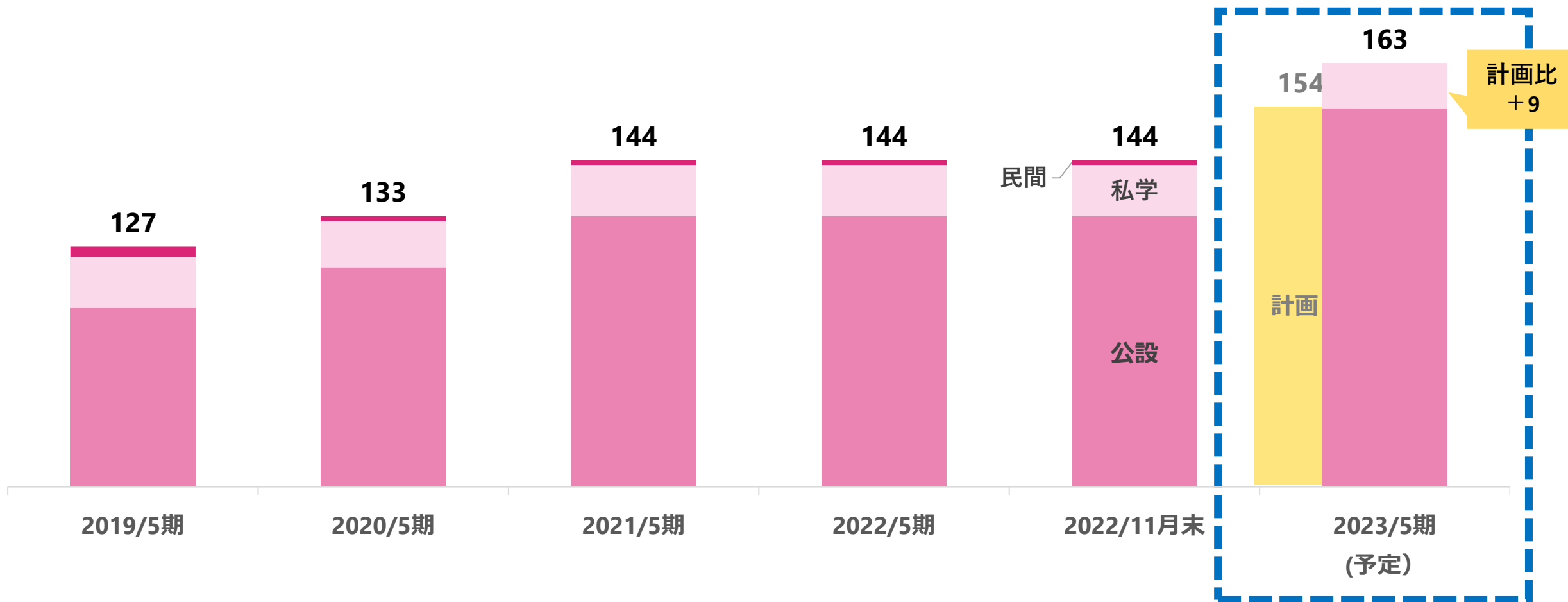
GLTD制度（団体長期障害所得補償保険）導入



病気やケガが原因で長期間仕事ができなくなった場合に、収入を補償する制度。sacaso派遣が生活の基礎部分を補償し、不足部分は個人で買増しできる仕組みを導入

✓2022年11月末時点 合計144の放課後施設を運営

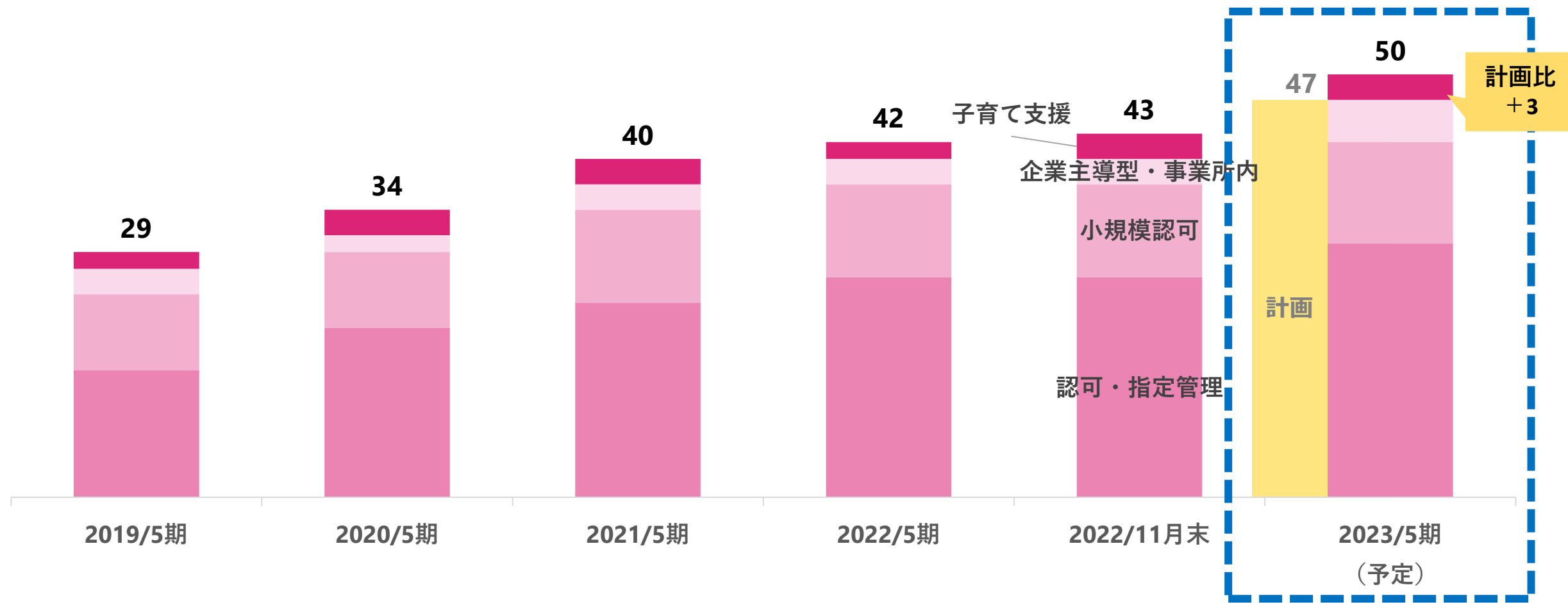
✓下半期…2023年4月時点の施設数 期初計画154施設→予定163施設 (23/5期における業績影響は軽微)
 増減内訳：増加…新規開設25施設 (全て公設受託) 減少…公設4施設、私学1、民間1 (契約満了等)



✓2022年11月末時点 合計43の保育施設を運営(2022年10月子育て支援施設1施設運営開始)

✓下半期…2023年4月時点の施設数 期初計画47施設→予定50施設 (23/5期における業績影響は軽微)

増減内訳：増加…新規開設8施設 (認可3、指定管理1、小規模1、事業所内保育2、子育て支援施設1)



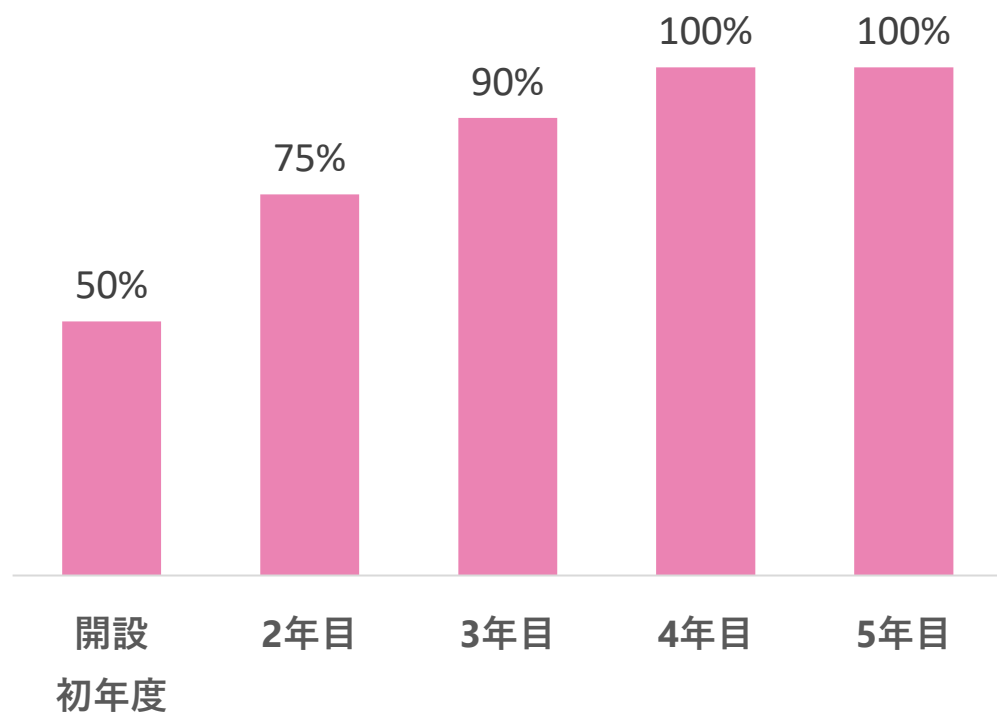
✓既存園の園児獲得が順調に進捗していることに加え、2023年4月新規開設数が当初計画を上回るため園児数計画を上方修正

✓年度途中での園児数増に向け、引続き月次で保育園児数のKPI設定とモニタリングを実施していく

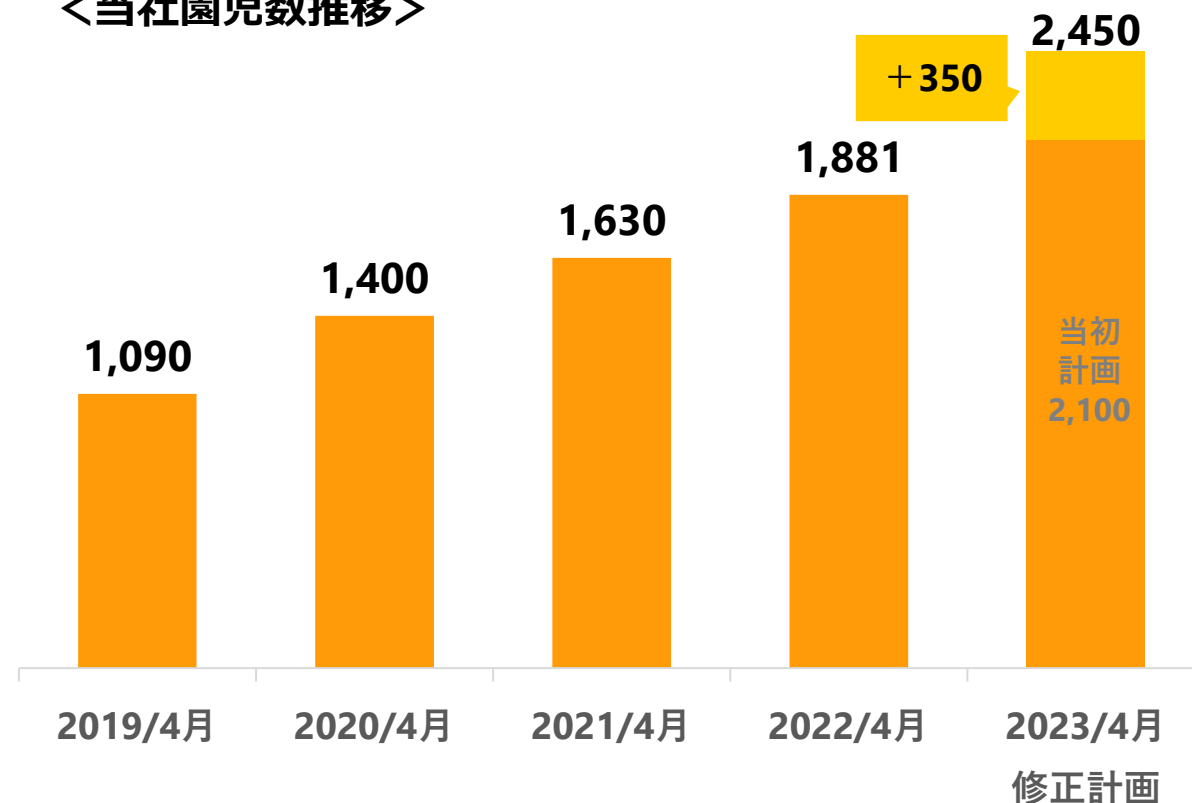
✓新規開設初年度は「0、1、2歳児」の受入れが主→年度を追うごとに充足率が上がる

✓売上は園児数と比例

＜園児数充足モデル＞



＜当社園児数推移＞



内閣府は 保育、放課後の受け皿確保をベースに
2025年女性就業率82%と目標設定（2021年71.3%※）
当社事業領域は政策とリンクしている

政府の動き	政策カテゴリ	女性就業	育児両立支援制度の確立	
			保育	放課後
	現行政策	女性就業率80%	2020年度末 待機児童解消 ✓目標達成できず	2023年度末 受入児童数 +30万人 学童クラブ定員拡大
	新たな目標 2020年12月発表 「新子育て安心プラン」 新たな閣議決定	2025年 女性就業率82%	2024年度末 園児数 +14万人分 受け皿整備	—
	2023年4月 こども家庭庁創設	こどもの視点・子育て当事者の視点に立った政策の企画立案・総合調整等		
	当社事業	就労支援事業	保育事業	放課後事業

※総務省統計局 労働力調査（基本集計）2021年平均より

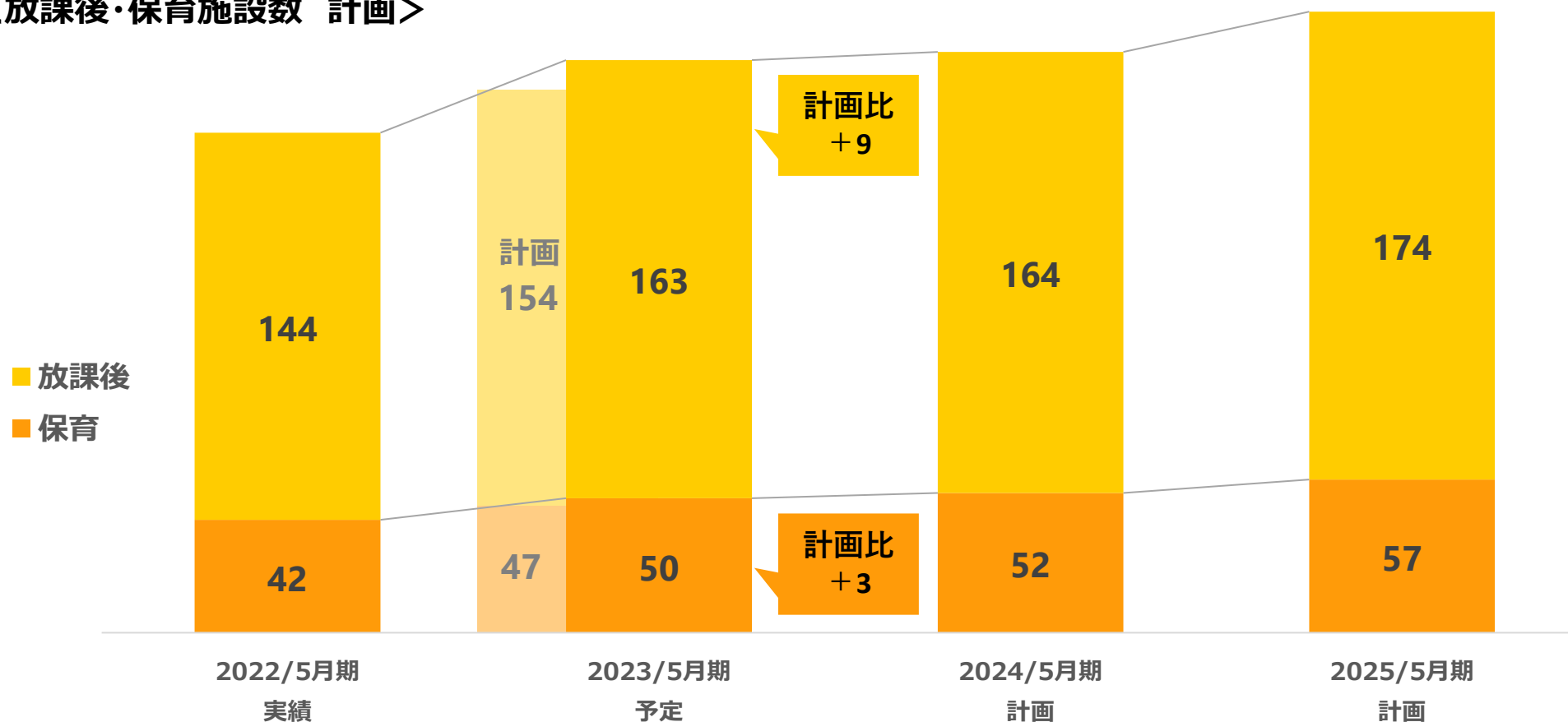
- ✓2023年4月新規開設が寄与する見込みのため、2024年～2025年5月期計画は据置き、当初計画達成を目指す
- ✓2025年5月期 関わる家族17万人の笑顔をつくる・・・売上高 120億円（2022年5月期比+31%）
営業利益 6.6億円（同+189%）をめざす
- ✓3事業強化+新規事業開発による多角経営、本部人員も強化し安定した拡大期へ

（百万円）

	実績	中期経営計画			
	2022/5月期	2023/5月期 期初計画	2023/5月期 修正計画	2024/5月期	2025/5月期
売上高	9,130	9,640	9,640	10,800	12,000
営業利益	233	300	160	444	660
営業利益率	2.6%	3.1%	1.7%	4.1%	5.5%

- ✓放課後、保育ともに2023年5月期計画を上回る。放課後、保育ともに運営実績が評価され新規施設獲得が順調に進む。
- ✓放課後は大きく計画を上回るが、設備投資は不要かつ旧運営者からの人材確保が可能のため初期費用は抑えられる。

＜放課後・保育施設数 計画＞



	2022/5月期末	2025/5月期末
セリオファミリー	11万人	関わる家族17万人の笑顔をつくる
グループ連結	売上高91億円 営業利益2.3億円	売上高120億円 (2022年5月期比+31%) 営業利益6.6億円 (同+189%)
就労支援 稼働スタッフ	915名 うち主婦率8割	1,210名 うち主婦率8割
放課後施設数 登録児童数	144施設 20,825名	174施設 24,300名
保育施設数 利用園児数	42施設 1,894名	57施設 2,450名
セリオガーデン	施工施設数18	累計施工施設数 200

✓中期経営計画の戦略に沿って各部門進捗中

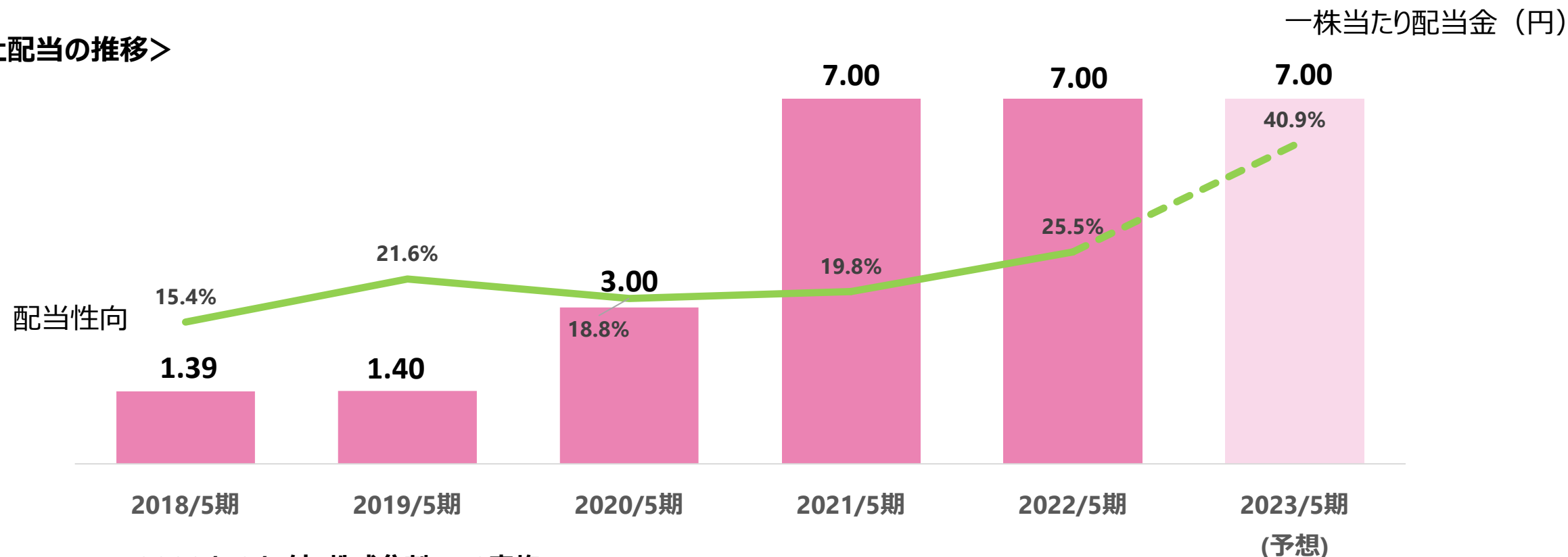
✓放課後・保育ともに東海エリアへのドミナント展開強化及び新規自治体への進出 (2023年4月開設予定)

	ありたい姿	中期戦略骨子	進捗トピックス (2023年5月期)
コーポレート	関わる家族17万人の笑顔をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 各種システム投資による業務効率化 横断での育成・能力開発・配置 働きやすい環境づくり ワーク・ライフ・バランスの実現 	<ul style="list-style-type: none"> GLTD保険導入 新卒者向けメンター制度導入 役職別研修開始 育休復帰者向けメンター制度導入★NEW
就労支援	<ul style="list-style-type: none"> 主婦が「働きたい」と思ったら「sacaso」※ 主婦の働きやすさNO.1を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 主婦向けパートタイム派遣特化 企業へのコストダウン提案 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣スタッフへのリフレッシュ休暇付与 sacaso派遣のサービスが「日本子育て支援大賞2022」を受賞
放課後	「明日も来たい」子どもの笑顔があふれる安心・安全な施設	民間へ運営移管自治体へのドミナント展開	<ul style="list-style-type: none"> ドミナント展開に向けた本部人員増強 中期的な施設増に向けた人材の早期確保、育成強化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【2023年4月開設予定施設トピックス】★NEW</p> <ul style="list-style-type: none"> 東海エリアへのドミナント展開強化 新規自治体への進出 </div>
保育	「通わせたい・働きたい」地域NO.1 保育園	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童顕在化地域への展開 選ばれる施設づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 初の公立保育園の運営委託を受託★NEW エリア園長制度導入 園長主導のテーマ別横断委員会 (質向上・コミュニケーション活性化)
セリオガーデン	<ul style="list-style-type: none"> 「緑のじゅうたん」ならセリオガーデン 業界第一人者の地位確立 	<ul style="list-style-type: none"> 新規顧客開拓100施設 定期メンテナンス体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 高校グラウンド大型受注 東京進出により首都圏エリア拡大開始 春施工開始 (施工ピークを年1回→複数化へ)

※sacaso…就労支援事業の事業ブランド名

- ✓業容拡大に向けた投資ならびに内部留保の充実を図りながら、継続的・安定的に配当を行うことを基本方針とする
- ✓配当性向20%を当面の目標とする
- ✓2023年5月期は、配当政策の基本方針に基づき、安定的な還元を継続するため、2022年5月期と同額の7円を予定

<当社配当の推移>



※2020/10/1付_株式分割1：2実施
 グラフの2020年5月期以前の実績は、株式分割後の値で換算



〒530-0003 大阪市北区堂島1-5-17堂島グランドビル8F
TEL06-6442-0500
<https://www.serio-holdings.co.jp/ir/>
E-mail : info2@serio-corp.com (経営企画室)

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、作成時点で取得している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その実現を確約・保証するものではありません。

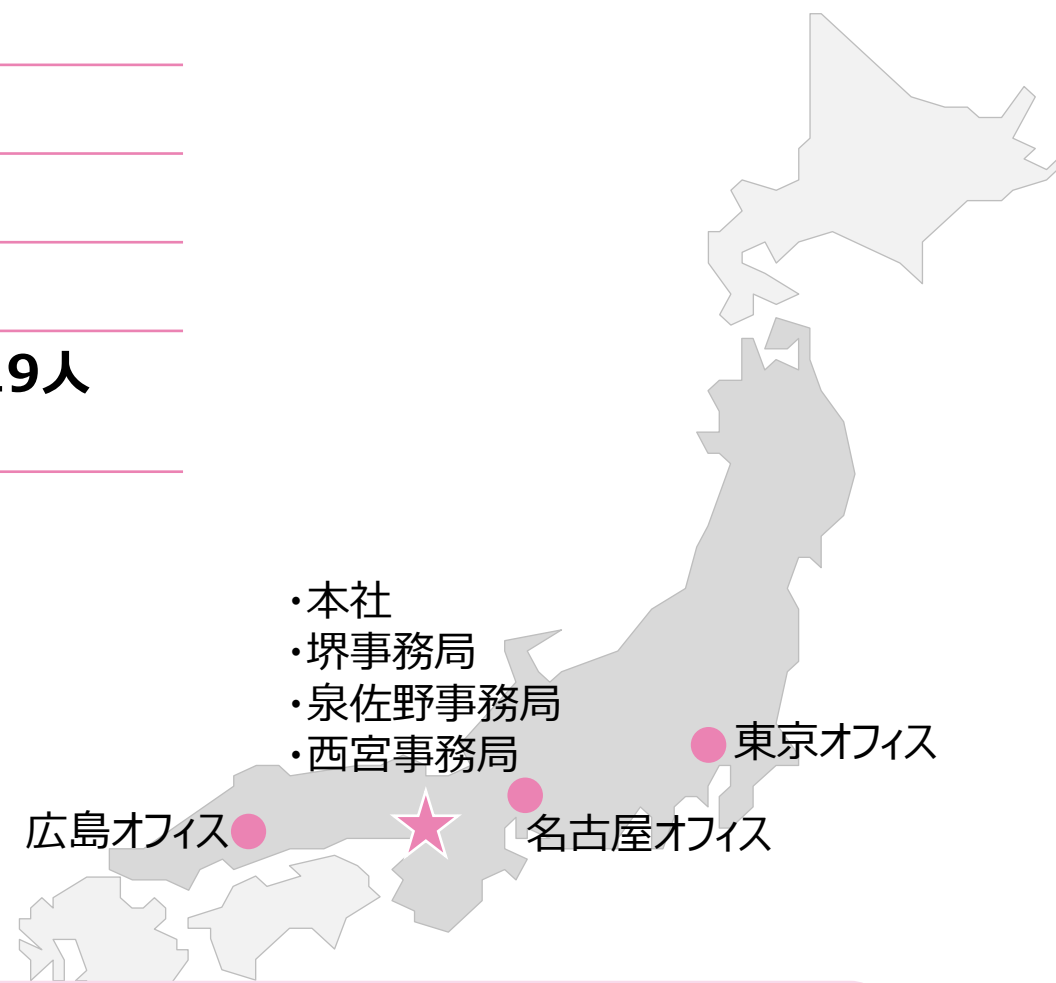
Appendix

社名	株式会社SERIOホールディングス
設立	2016年6月1日
代表者	若濱 久
資本金	693,263千円
従業員数	正社員 837人 パートタイマー等 2,119人 (2022/5月末時点 連結)
本社所在地	大阪市北区

《主要グループ会社》

社名	株式会社セリオ
設立	2005年6月24日

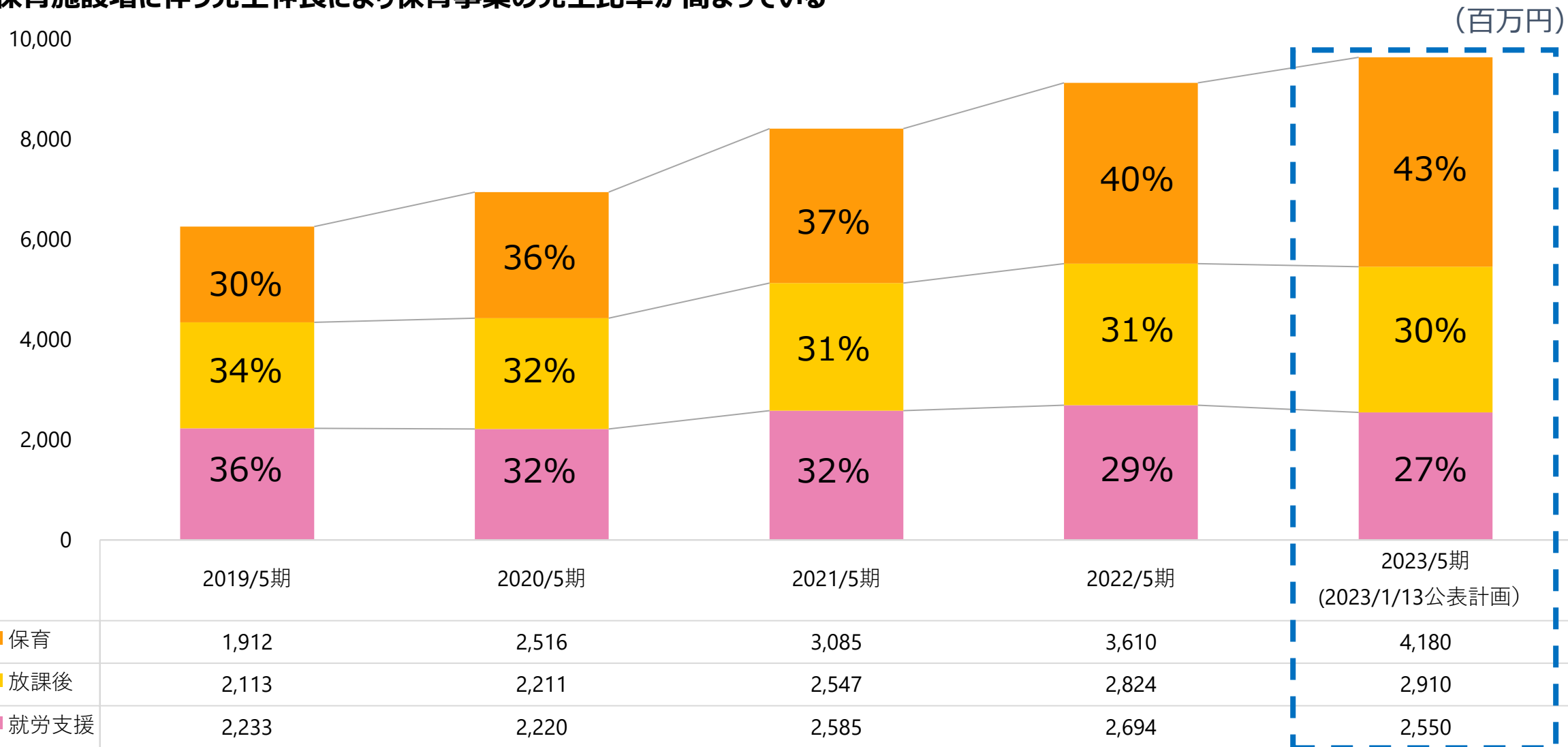
上場証券取引所 東証グロース (証券コード: 6567)



『SERIO』 ポルトガル語で『まじめ』という意味

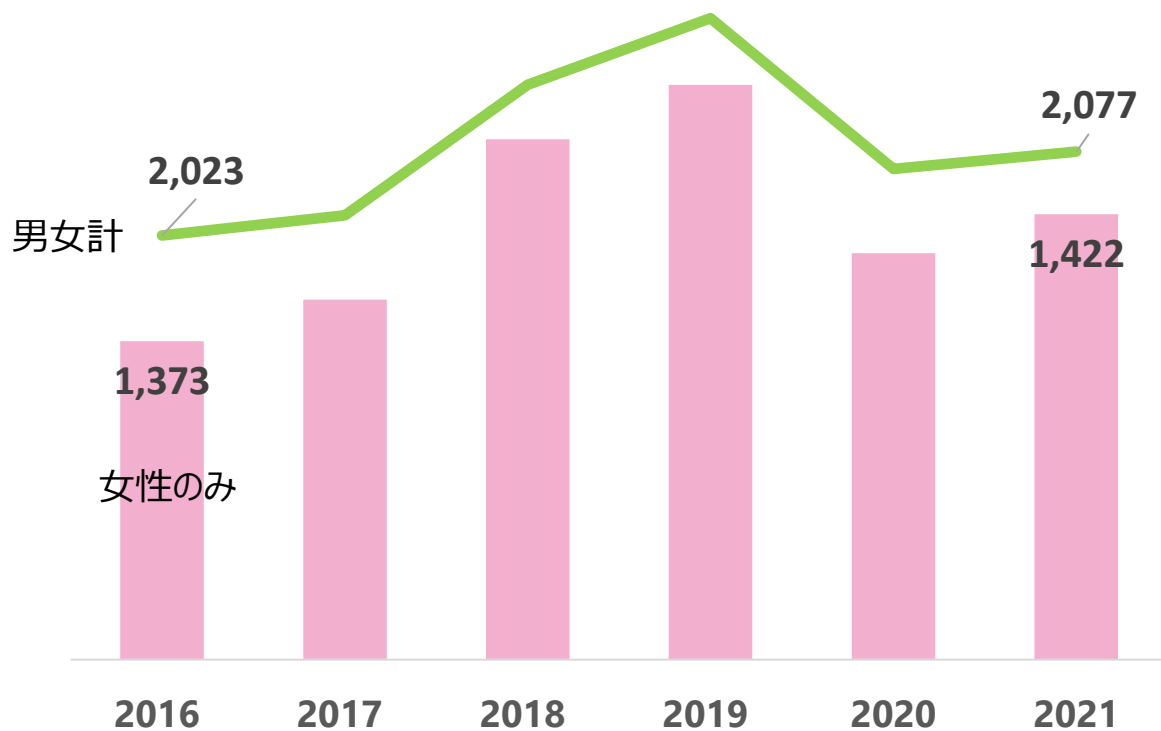
- | | | |
|-------|-----|--|
| 2005年 | 6月 | 大阪市に(株)セリオ（資本金10,000千円）を設立
子育て中の既婚女性の人材派遣を主とした就労支援事業を開始 |
| 2010年 | 3月 | 小学生を対象とした放課後事業を開始 |
| 2012年 | 4月 | 未就学児童を対象とした保育事業を開始 |
| 2013年 | 12月 | 大阪市北区、淀川区で児童いきいき放課後事業の受託運営を開始 |
| 2014年 | 4月 | 当社初の認可保育園を大阪市都島区に開設 |
| 2016年 | 6月 | (株)SERIOホールディングス（資本金10,000千円）を設立し、(株)セリオを完全子会社化 |
| 2017年 | 10月 | 就労支援事業の新ブランド“sacaso”（サカソ）の運用を開始 |
| 2018年 | 3月 | 東京証券取引所マザーズ市場（現 グロース市場）に上場 |
| 2020年 | 12月 | (株)セリオの子会社である(株)クオーレを(株)セリオガーデンに社名変更 2021年1月より 緑化事業開始 |
| 2022年 | 11月 | 放課後144施設 保育43施設 合計187施設運営 |

✓2023/5月期は放課後、保育事業において過去最高売上を計画
 ✓保育施設増に伴う売上伸長により保育事業の売上比率が高まっている



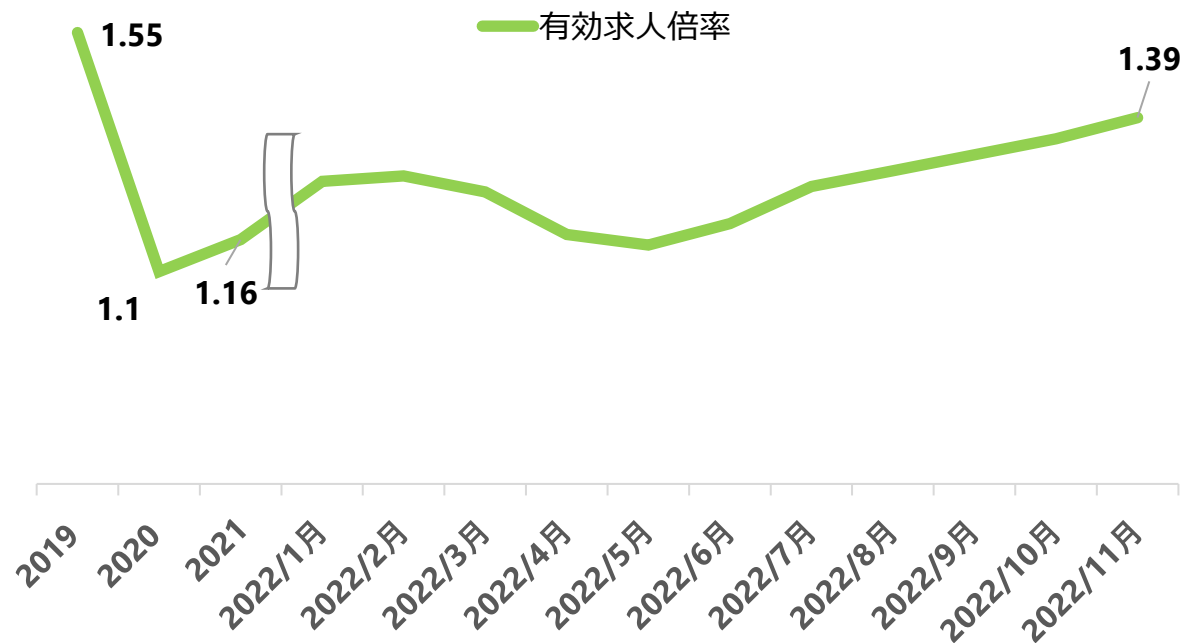
非正規従業員の就業者数はコロナ下の2020年に減少したものの、2021年増加に転じた。
2022年5月以降、有効求人倍率は右肩上がりに推移。人材需要は旺盛だが派遣スタッフ確保は厳しくなっている。

<非正規の職員・従業員数推移（万人）>



厚生労働省「労働力調査 2021年度」より

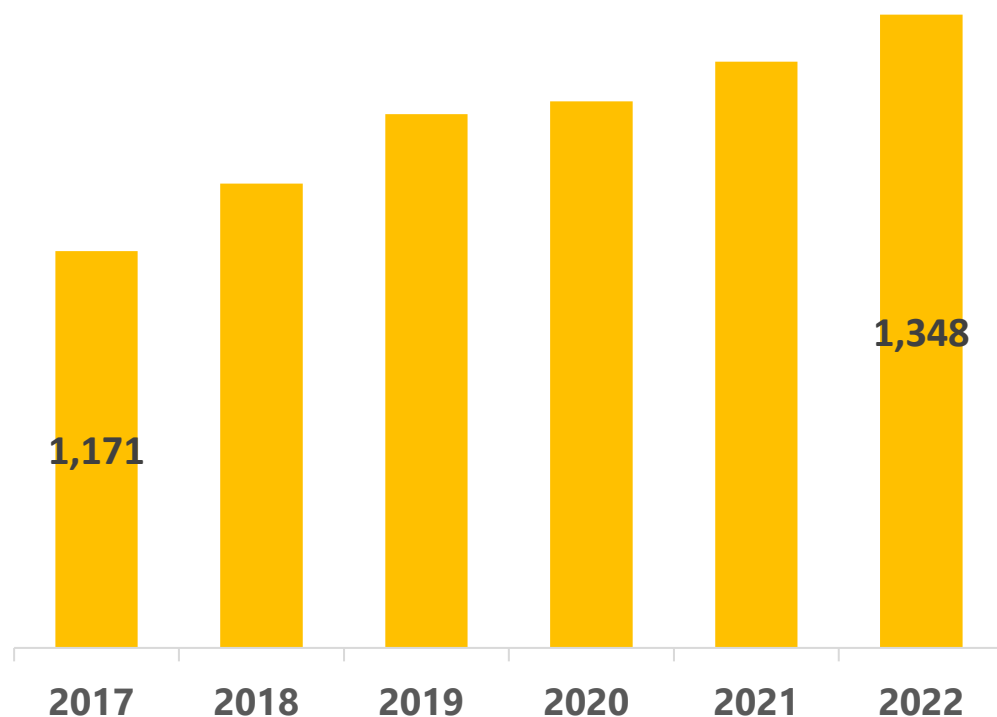
<有効求人倍率の推移（倍）>



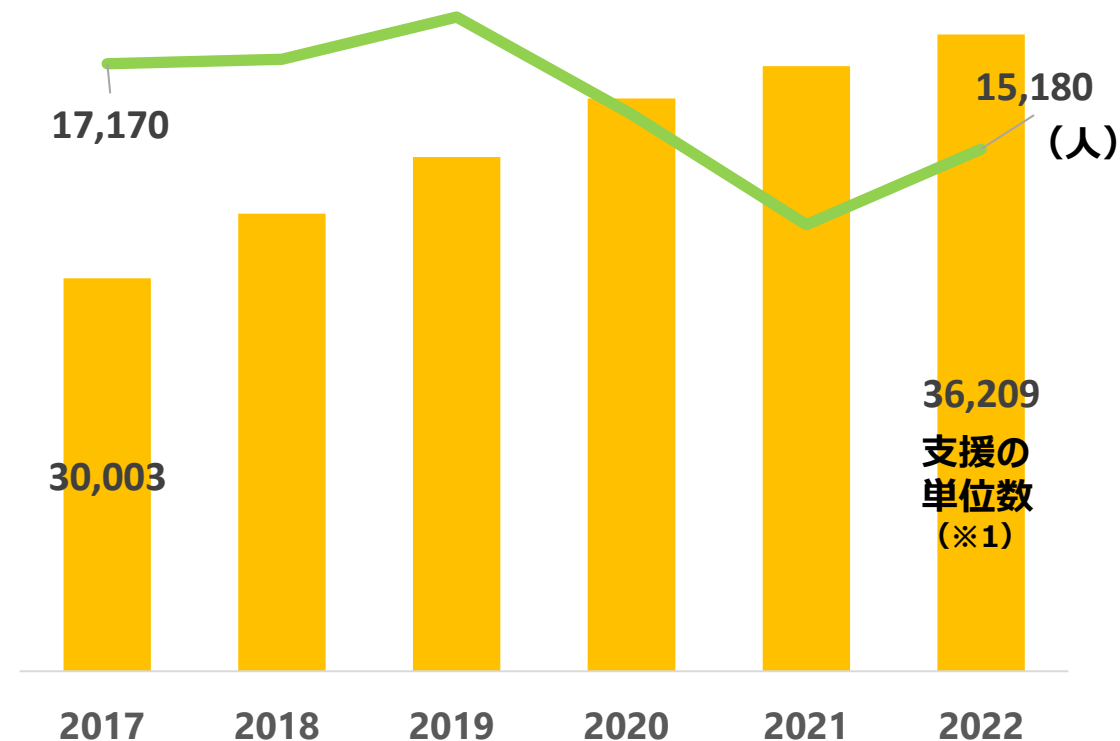
厚生労働省「一般職業紹介状況（令和4年11月分）」より

2022年は登録児童数が過去最高となり、学童の支援の単位数（※1）も増加。2020～2021年に一時的なコロナ影響による利用控えはあったものの、再び待機児童数が増加に転じ、需要には追いついていない状況。今後の市場拡大余地が大きい。

<登録児童数の推移（千人）>



<学童の支援の単位数（※1）と待機児童数（人）の推移>

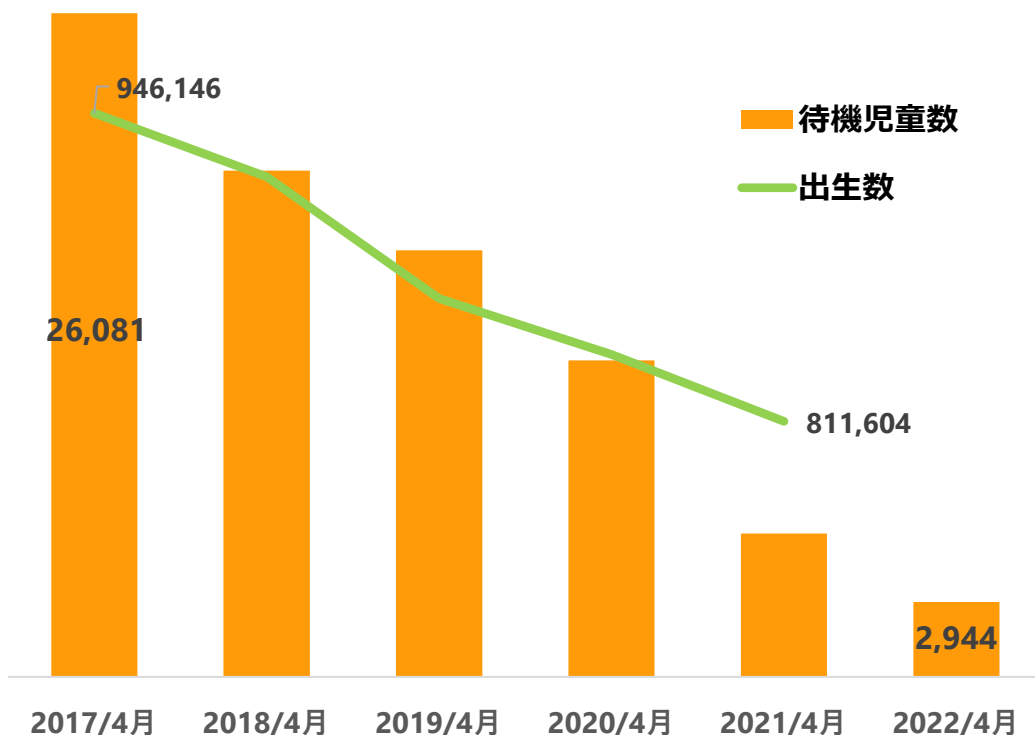


厚生労働省「2022年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（2022年5月1日現在）」より

※1…「支援の単位」とは、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」により、児童の集団の規模を示す基準として2015年度から導入されたものであり、児童の放課後児童クラブでの活動は、この「支援の単位」を基本として行うこととなった。

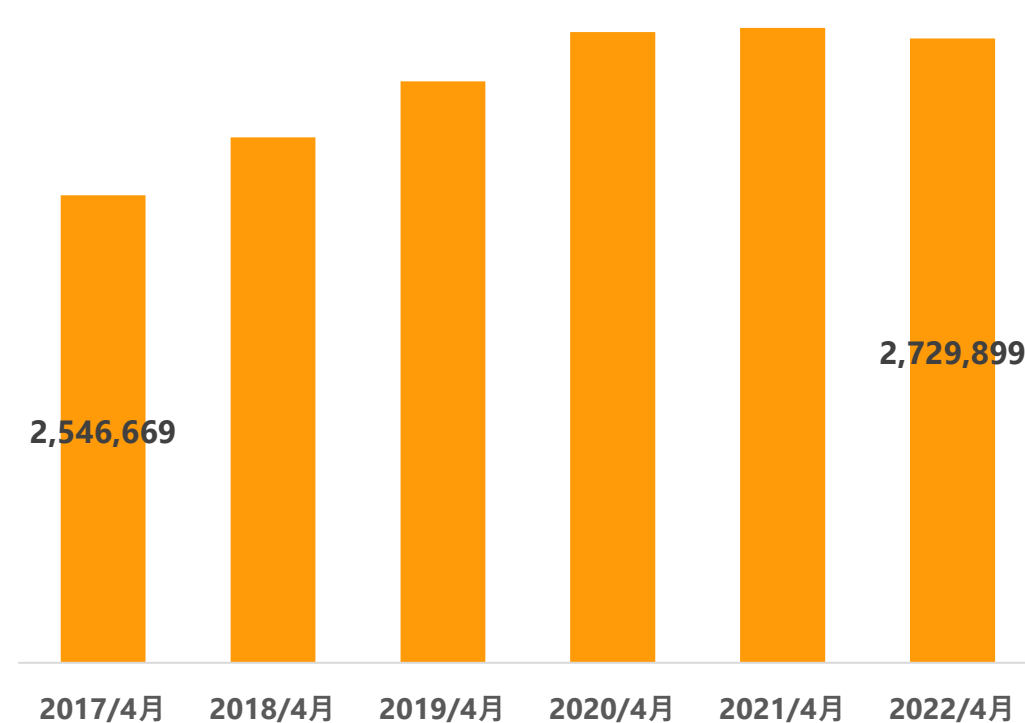
コロナ下において少子化は加速。待機児童数は年々減少しており、2022年4月時点では保育所を利用する児童がはじめて前年を割った。当社は女性の就業率上昇に伴う需要の高い地域に展開していく。

<待機児童数・出生数の推移（人）>



厚生労働省「令和3年（2021）人口動態統計月報年計（概数）の概況（令和3年）」より

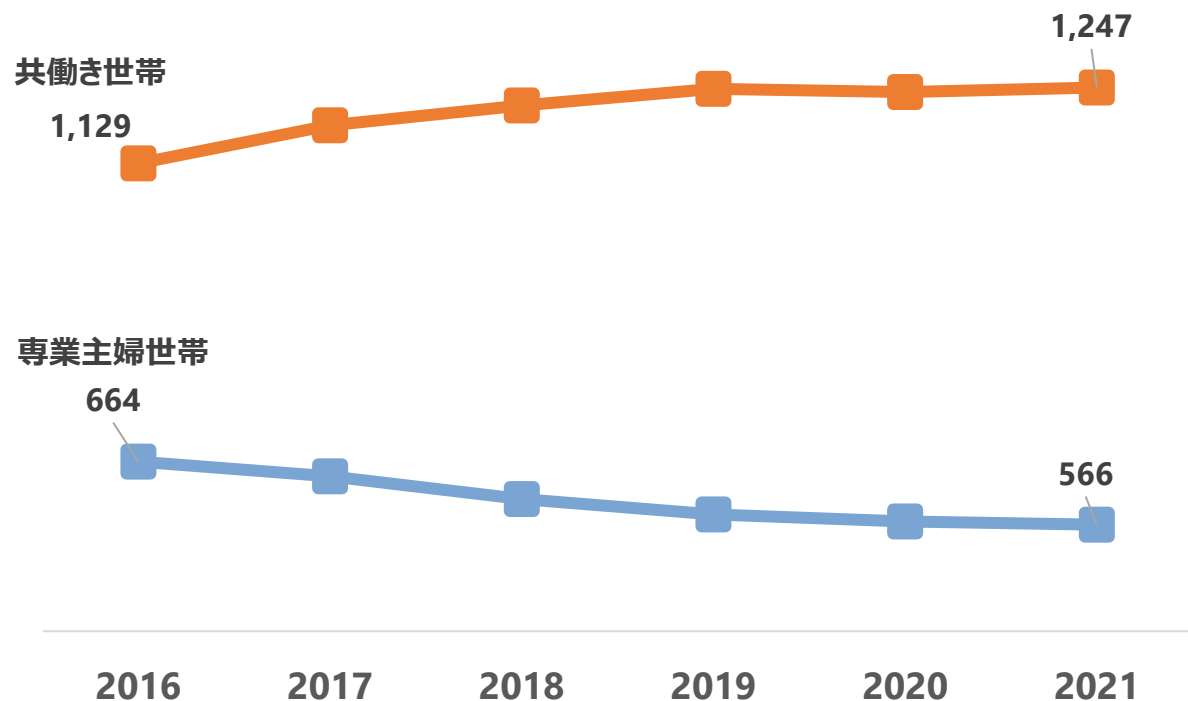
<保育所等利用児童数の推移（人）>



厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」より

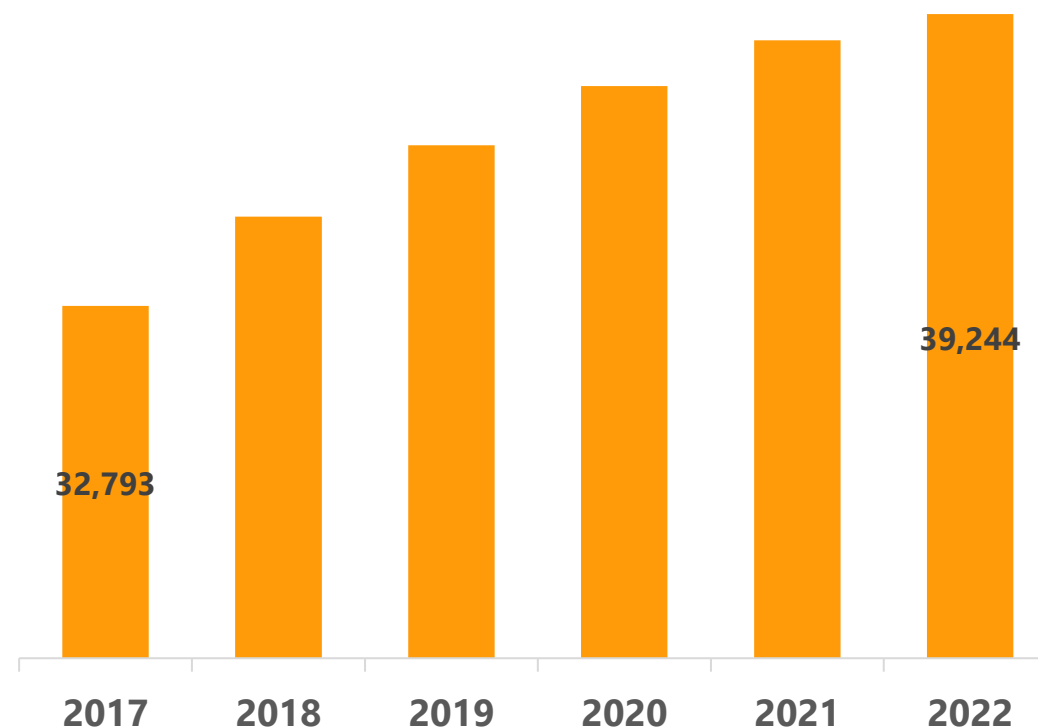
共働き世帯は増え続け、専業主婦世帯の倍以上の水準で推移。保育需要の高まりにより施設数は増加し続けている。

＜共働き世帯数の年次推移＞



総務省「労働力調査（詳細集計）」より

＜保育所等施設数の推移＞



厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和3年4月1日）」より

“家族の笑顔”があふれる豊かな未来へ

持続可能な社会の実現のため、全ステークホルダーとの共生を原点にESGに取り組んでいます。

Environment 環境	Social 社会		Governance 企業統治
<p style="text-align: right; color: red;">★NEW</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大阪市グリーンボンド債への投資 ● ICT化によるペーパーレス化推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 放課後施設での廃材を再利用した工作プログラム実施 ● 保育施設への節水機器の設置 <ul style="list-style-type: none"> ● 保育園・幼稚園等の園庭芝生化事業 	<p>ワーク・ライフ・バランス</p>	<p>テレワーク制度 恒久化 時差出勤制度 恒久化 不妊治療休暇制度 年間休日125日以上 時間有給休暇制度 積立有給休暇制度 カムバック制度 ノー残業DAY 男性育休取得促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 社外取締役3名（37.5%） ● 女性取締役1名（12.5%） ● リスクマネジメント委員会設置 ● コンプライアンス委員会設置 <ul style="list-style-type: none"> ● 社内通報制度 ● コンプライアンス研修実施 ● 譲渡制限付株式報酬制度
	<p>女性活躍推進</p>	<p>女性管理職比率69.2% ※1 育児関連福利厚生拡充</p>	
	<p>障がい者雇用促進</p>	<p>「tiku☆tiku」の創設 ※2</p>	
	<p>従業員健康促進</p>	<p>女性検診全額負担 社内禁煙制度 コロナワクチン接種休暇</p>	

※1_2022/5月期実績

※2_保育園向け手作りおもちゃ工房

2030年のセリオへ！

「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」を目指し、持続可能な企業価値の向上に努めています。

SDGsへの取組みを通して、事業の持続的な発展と新たな事業展開を推進しています。

4 質の高い教育を
みんなに



●放課後施設で子どもたちにSDGsへの理解を促進するプログラムを実施しています。

17の目標に合わせて作成したオリジナルテキストを使用し、子どもたちがSDGsを身近に感じ、自らが考え行動できるようサポートを行っています。



5 ジェンダー平等を
実現しよう



●すべての女性が出産や育児・介護を行いながら仕事を続けることができるよう、女性の就業と育児をサポートしています。

また、セリオグループで働くすべての従業員がキャリアを磨き、活躍できる働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。



8 働きがいも
経済成長も



●保育士資格支援制度を制定し、キャリアアップを支援しています。

●花王グループカスタマーマーケティング株式会社様と連携し、安価で紙おむつの定額サービスを提供しています。

●保育園向けの手作りおもちゃを制作し、障がい者雇用の促進、保育士の業務負担軽減に取り組んでいます。



12 つくる責任
つかう責任



●保育園給食における食品ロス量を計測し、低減させるための取り組みを行っています。栄養バランスを保ちながら、一人当たりの食料の廃棄量を削減していくことを目標にしています。

●印刷会社と提携し、余剰紙を提供いただき、放課後施設で活用しています。資源を再利用し、プログラムの充実に役立っています。



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう

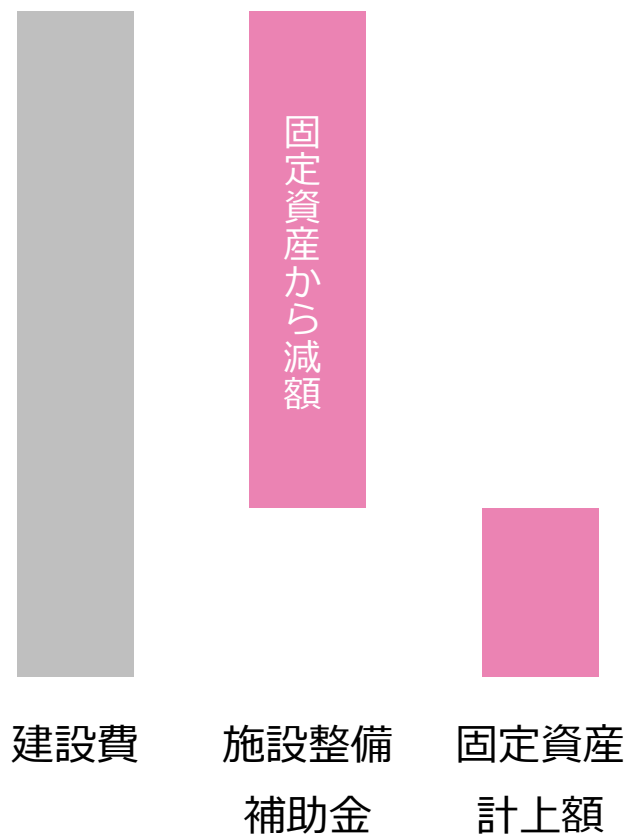


●株式会社セリオガーデンを立上げ、保育園・幼稚園・学校への芝生の普及を行っています。芝生の特性である保湿性によるヒートアイランド防止対策を推進し環境問題の改善に取り組んでいます。



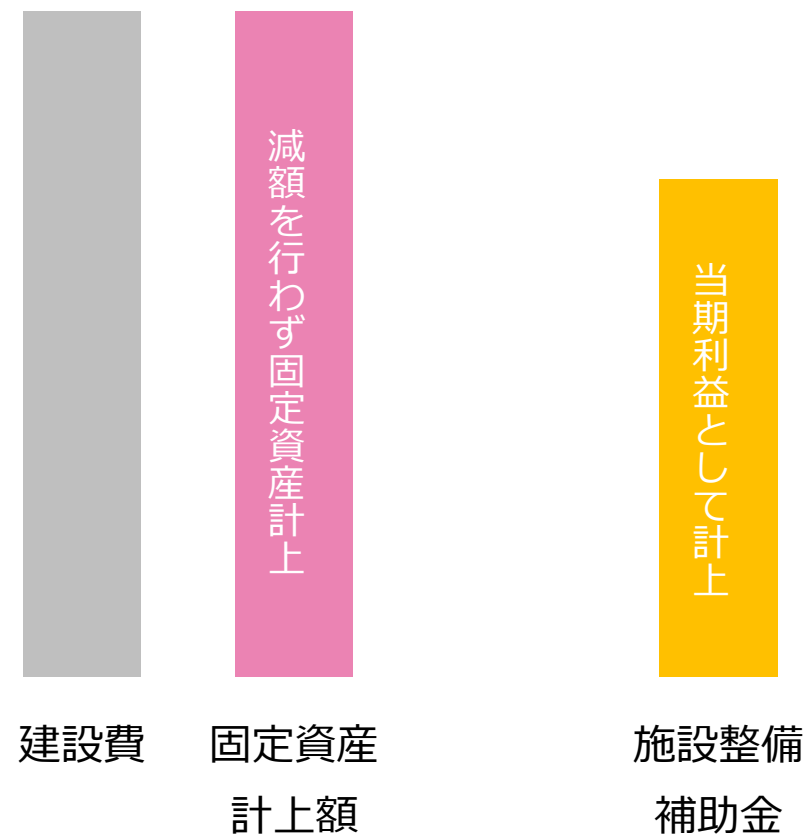
【直接減額方式 採用】※当社会計処理

施設整備に係る補助金をB/S上で反映



【直接減額方式 不採用】

施設整備に係る補助金をP/L上で反映





〒530-0003 大阪市北区堂島1-5-17堂島グランドビル8F
TEL06-6442-0500
<https://www.serio-holdings.co.jp/ir/>
E-mail : info2@serio-corp.com (経営企画室)